



# 足立区立六月中学校

令和2年度  
第8号  
校長 塚原 洋

## 「目標」

受験シーズンが本格化し全国の中学3年生は勝負の冬休みを迎えます。六月中学校の3年生からするとライバル達ではありますが、高校進学という同じ目標に向かう仲間でもあります。不安や悩みがある人も一人ではないと思えば勇気もわいてくるはずです。頑張してほしいと思っています。

さて、校長による面接練習を毎年行っていますが、過去に3年生との面接練習をしていて聞くことの一つに、「中学校生活の中で一番思い出に残っていることは何ですか?」と質問すると、「運動会です。」「合唱コンクールです。」「修学旅行です。」という答えが返ってきます。さらに私が「どんなところが強く思い出に残っているのですか?」と続けると「当日までいろいろなことがあったが、最後には力を合わせて、今までで最高の結果が出せたことです」と多くの生徒が答えてくれます。

今年新型コロナウイルス感染症の対応のため多くの学校行事がなくなっていますが、その中から3年生は多くのことを感じ取り成長しています。どのような「応え」をしてくれるか楽しみにしているところです。それは3年生の受験があるからこそ、成長した姿が見られる貴重な時間だからです。

学校生活だけにとどまらず人生の中や社会生活においても、社会人となっても「目標」という言葉が使われます。学校には「教育目標」があることから分かります。「目標」があれば最後には「達成」したかどうかが問われます。

「目標」があり実践した「過程」があり「結果」として残るものがあります。結果が出るには良い結果でも悪い結果でも必ず「原因」や「要因」があるはずです。

プロ野球監督として名高い野村克也さんの著書『エースの品格』の中で、阪神の監督時代にエースとして活躍した藤川球児投手が、中日ドラゴンズとの試合で当時の4番タイロン・ウッズ選手に同点で迎えた9回表、2死二、三塁の場面で、同じコースにストレート11球を続けて投げ、その11球目をセンター前に弾き返され、それが決勝タイムリーとなり、大事な一戦を落としたことが書かれています。

常々野球は「団体競技なのだ」と言っている野村監督にしてみれば、藤川投手の投球を余りにも身勝手な行為として捉え、野球を私物化していると語り「背後には究極の目標を共に抱く【チーム】が存在することを忘れてはいけません。ましてや、選手個人のこだわりなど真剣勝負の中では絶対にあってはいけないことである。」「バッテリーを組んでいるキャッチャーが正しい配球を知っていて、自分の判断を押し通す勇気がなかったことも同罪である」と批判しています。

打者に対して、ストレートを警戒させたのだから、変化球を投げれば、おそらくウッズは対応できずに三振、凡打に終わる可能性が高かった。野球とは団体競技であり「チームの勝利こそが、最高の目標である。」バッテリーにとっては「打者を打ち取ることに集中することが、プロとしての使命である。」とすることを強調されている。プロ野球のことでそのチームの背後には選手や球団関係者の家族や生活があり、ファンや地域、球団としての社会的貢献などがあることを知っているからこそ苦言を伝えているのだと感じます。

学校においても教育目標の達成のために教職員が一丸となり生徒達一人一人のために、指導の「過程」を大切にしながら「結果」に目を向け「原因や要因」を探り、分析し、改善に向けていく努力が必要です。

プロの教育者として生徒一人一人に目を向け「目標」「目的」を常に念頭におきながら「手段」を考え生徒の将来の社会生活に役立つための「学力」を身に付けさせていくことがプロとしての使命です。学校には生徒が存在し、その後ろには保護者や家族、地域の期待があることを忘れてはいけません。

今、教育改革が叫ばれている中です。六月中学校が変化し前進していける教員集団、学校としていきたいと思えます。

また、生徒の皆さんは4月からの学校生活の中で人生の中で二度と起こることのないような貴重な体験をし、



「当たり前の生活」がどんなにか貴重であったかを知りました。その中にある少ない活動から「みんなで力を合わせ、目標を達成したよるこび」を知ったことは何事にも代え難いものです。一日一日を大切に過ごしたいと誰もが思っていることですが、これを続けることは大変難しいことです。

しかし思い続け、忘れない努力を続け多くのことに挑戦をしてもらいたいです。期待しています。保護者の皆様におかれましてもご理解とご協力ありがとうございます。良いお年をお迎えください。

### ～引き続きご協力をお願い～

**新型コロナウイルス感染症が日本でも猛威を振るっています。**

六月中学校においても新型コロナウイルス感染症対策は来年も引き続き行ってまいります。

冬期休業期間中においても家を出る前の手洗いや帰宅後の手洗い、消毒などお子様へのお声かけをお願いします。生活指導部からでているプリントを確認し、規則正しい生活を進めるようお声かけをお願いします。

お出かけになる時には清潔なハンカチやハンドタオル、ティッシュペーパーを持たせ、マスクの正しい着用の徹底など引き続きご協力ください。感染症対策においてはご家庭の協力がなくては成り立ちません。

今一度、下記をお読みいただき、必要なときには必ずご連絡ください。

#### 1 ご家庭での確認

##### (1) 健康チェック

- ① 毎朝のお子様の検温をおこない、ご家族も検温するなど健康観察を徹底してください。  
※検温を忘れる生徒が増えてきています。
- ② 発熱や咳が出るなど風邪症状がある場合には外出を控えていただければと思います。
- ③ 土日に体調を崩した場合などもヘルスチェック表に記入させてください。

#### 2 学校への連絡（学校があるとき）

##### (1) 次の場合には学校に速やかにご連絡ください。

- ① お子様に発熱や風邪症状がある。
- ② ご家族がPCR検査を受け、お子様が濃厚接触者として特定された。
- ③ お子様がPCR検査を受ける。
- ④ お子様が海外から帰国や入国した。
- ⑤ お子様のPCR検査が判明した。
- ⑥ ご家族が風邪症状、濃厚接触者、PCR検査を受ける、海外から帰国、入国した。  
※⑥の場合はお子様の登校に制限があるわけではありませんが、ご連絡いただくと助かります。

#### 3 閉校日期間の連絡

冬季休業中の令和2年12月28日（月）～令和3年1月4日（月）までの8日間は、直接学校に連絡できなくなります。この期間に緊急に学校と連絡を取らなければならなくなった際は、下記のとおりご連絡ください。また、児童・生徒の新型コロナウイルス感染症のPCR検査の受診・検査結果については必ずご連絡ください。

#### 【閉校日の緊急連絡先】

<令和2年12月28日（月）及び令和3年1月4日（月）の2日間>

##### (1) 緊急連絡先

足立区教育委員会教育指導課（8：30～17：00）03-3880-5974

##### (2) 児童・生徒の新型コロナウイルス感染症に関する連絡先（PCR検査の受診・結果報告）

足立区教育委員会学務課（8：30～17：00）03-3880-5971

<上記以外の日時で緊急連絡及び新型コロナウイルス感染症に関する連絡先>

足立区役所（代表電話）03-3880-5111

※ 「生命に関わる事件・事故が発生した、または新型コロナウイルス感染症のPCR検査の受診・結果報告のため、学校に連絡をしたい。」と、用件とともに、学校名・学年・氏名及び連絡先を代表電話担当者に必ずお伝えください。

### 3年生の面接練習

開かれた学校づくり協議会をはじめ地域の皆様のご協力をいただき3年生の全員面接を行う事ができました。ありがとうございました。

緊張感のある時間を過ごした3年生。とても貴重な経験となりました。



順番を待ちます。



「志望した理由をお聞かせください」



「学校生活で1番の思い出は何ですか？」



「足立区立六月中学校 3年 ○○です。」



「学校生活で1番努力したことは何ですか？」



緊張感あります。

この経験を活かし高校進学に向けて3月まで頑張ります。

皆様、良いお年をお迎えください。



先生方と協議会委員のペアで面接練習です。終了後は図書室にて懇談し様子を担任に伝えることができました。



翌日には担任から頂いたアドバイスを生徒一人一人に伝えています。きっと活かしてくれると思います。



◇先生から伝えられるアドバイスを真剣に聞き入る3年生。素直で素晴らしい3年生です。